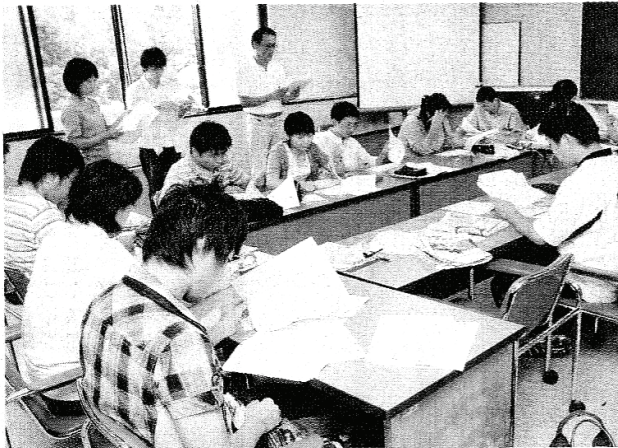


鳴教大

授業力向上新プログラム

大学院に來年度導入



高度な教育のプロ養成

鳴門教育大学は、子供の学力向上や心の教育といった課題を教師が授業を通じて解決する力を養うための新たなプログラムを、二〇〇八年度から大学院学校教育研究科に導入する。専門科目の研究に偏りがちだった従来の大学院教育を改め、教員免許の有無や現場経験が異なる大学院生が協力し、学校現場が抱える課題の解決などを通じてより高度な「教育のプロ」を養成する。

専門研究への偏り改善

大学によると、これまでの大学院は専門科目の研究に重点が置かれていて、必ずしも授業力の向上が図られていなかった。さらに、ここ数年は都道府県の財政削減で現職教員の大学院への派遣が減る一方、教員免許を持たない大学院生の受け入れが増加。経験や知識が異なる大学院生を同時に教育する手法の開発も課題だった。

新プログラムでは、二年間を通して必修となる「コアカリキュラム」を整備。学力向上やクラス経営といった学校現場が抱える課題と解決策について理解を深める「広領域コア科目」と、設定した教育目標を推進プログラムに選ばれ、二〇〇八年度までの二年間、計四千万円が補助される。

草原和博准教授は「県内の小中学校は積極的に研究課題を提起し、成果を活用することで教員養成に協力してほしい」と話している。

さまざまな教育課題を解決するために自分たちが考案した授業を発表し合う鳴教大の大学院生(鳴門市内の同大)

鳴門教育大学 大学院 学校教育研究科